

脱炭素都市づくり に向けて

はじめに

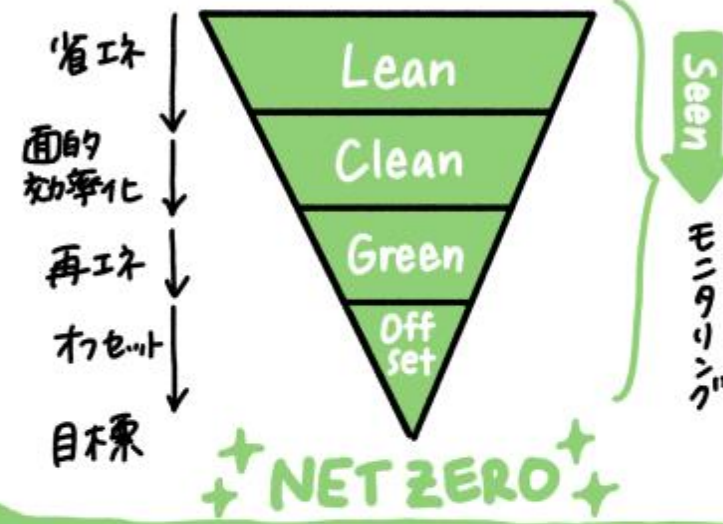
? なぜ都市の脱炭素が重要なのか?

! CO2排出量削減の約1/3を都市部が占めている!
(家庭+業務)



建替・改修等 → 脱炭素化

時間軸と入りの目標設定 + バックキャスト



エリアごとの排出量構造 に合わせたプランニング

目標達成に向けた参加・影響力を 促す仕組み(規制・お願ひ・アメ)

他の都市でも意識すべきポイントは?

イギリス
ロンドン

目標 2040年までにゼロカーボン
(オペレーション+エムボディド)
→ 都市計画として求められている

異分野間の言葉/認識あわせ、協力が必須



CO2 ライフサイクル
建物・建設～稼働
～廃棄までモニタ

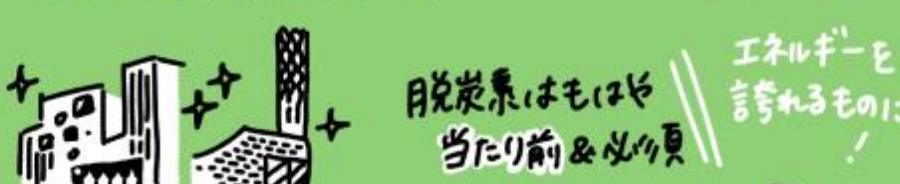
EPC
エネルギー効率を明示
低い場合は優遇的な税制も

オフセット
不達成のオフセットは
地域の脱炭素に活用



歴史的価値と共存する記録
歴史的建造物も外観は
守りながら脱炭素にするのがサステナブル

脱炭素型開発
グリーンビルディングも
入居者も集まらない!



エネルギーセンター
デザイン性高くエネルギー利用を
市民へ伝える+コミュニケーション

脱炭素はもはや
当たり前&必須
+ 地域の貢献や
市民への価値を
高めるフェーズへ

★ 定量的な目標づくりと
継続的なモニタリング

目標が正しいと
言っても
できない!

★ 現状・特性を知るために
データを集めること

★ 首長さんか
部長さんか?

★ プライオリティを上げる鍵は
トップの決断

★ 専門家(先生・コンサル)も含め
長期スパンのチームが理想

★ 長期戦

木中見都心の エネルギー政策とまちづくり



木中見都心まちづくり課

木中見

目標 2050年にゼロカーボンシティへ
→ 都心まちづくり計画×都心エネルギープラン

まち・エネルギーの有識者、ステークホルダーで検討



地域熱供給
1971年から導入し、都心の
エネルギー利用が拡大

活用
2018年度地域熱の供給時に
100%削減できた



E!まち開発推進制度
新築建物を事前協議とし
低炭素・強靱・快適を促進

開発誘導方針
公共施設メニューに適合する
物件に優先して管理費を減額



企業立地促進補助制度
ゼロカーボン推進ビルへ入居する
テナントの賃料補助率を2割増

72年オリンピック時に
建てたビルが50年
建替ラッシュを
とらえて進んでいる!
木中見はいい!